

## 令和3年度 きこえのセミナー ウェビナー開催要項案

- 1 テーマ 人工内耳入門セミナー：1歳児の子供たちへの人工内耳装用効果について  
先天性難聴児は1000人に約一人出生すると言われている。この子供たちの言語習得を容易にするため、2014年には人工内耳装用対象を1歳に早めました。それから7年経ちましたが、装用の効果はあったのか？ご専門の先生方に解説していただきます。今回は、ウイルス性感染症流行の可能性を鑑み、ウェビナー形式で開催します。
- 2 日時 令和4年2月12日(土)13時~15時半(予定)
- 3 会場 ウェビナー(オンラインセミナー)
- 4 目的 最新の難聴医療や人工内耳医療を周知することで、参加される難聴の方々には各々の生活の質(QOL)向上に、かつ健聴の方々には将来への備えとして役立てていただく。また、人工内耳装用後のリハビリは補聴効果を高めるために必要不可欠であるため、医療関係者及び人工内耳装用者、装用予定者にもリハビリの重要性を再認識していただく。
- 5 主催 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会
- 6 後援 (予定)  
宮城県、仙台市、宮城県耳鼻咽喉科医会、宮城県身体障害者福祉協会  
(一社)日本補聴器販売店協会宮城県支部、(社福)仙台市障害者福祉協会  
(一社)宮城県聴覚障害者福祉会、宮城県言語聴覚士会、河北新報  
朝日新聞仙台総局、産経新聞社東北総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局  
仙台CATV、エフエムたいはく、エフエムいわぬま、エフエム仙台  
せんだい泉エフエム
- 7 協賛 (株)日本コクレア、メドエルジャパン(株)
- 8 対象 人工内耳医療に関心のある宮城県を始め、全国の中途失聴・難聴の方々、健聴の一般の方々、及び医療関係者の方々(定員90名)
- 9 申込・問合せ先：瀬谷 FAX: 0172-26-5988、 E-mail: harri\_20\_ks@joy.ocn.ne.jp
- 10 参加費 無料
- 11 申込締切 令和4年1月30日(日)
- 12 開催日程  
令和4年2月12日(土)(予定)  
12:30~ 開場  
13:00~13:05 開会の言葉  
13:05~13:55 演題：難聴と人工内耳医療  
講師：織田 潔先生(東北労災病院耳鼻咽喉科)  
14:05~14:55 演題：1歳からの人工内耳ハビリテーション  
講師：米澤裕美先生(東北労災病院耳鼻咽喉科)  
15:00~15:25 製品紹介  
(日本コクレア、メドエルジャパン)  
15:25~ 閉会の言葉
- 11 その他 当日は要約筆記(文字による通訳)が付きます。Webを介して通訳します。  
参加申込みの方々には、当日スムーズに接続できるようにするため、開催日より前に接続テストを行う予定です。後日案内させていただきます。

# 開催趣意書

2006年12月13日、国連総会で「障害者の権利に関する条約」が採択されました。これは、あらゆる障害のある人の尊厳と権利を保障するための人権条約であり、2008年5月3日に発効しました。日本政府は2014年2月19日に締約国（批准国）になりました。

一方、全ての人々を包括するインクルーシブ理念に基づき、共生社会の形成をめざす動きも起こり、国際疾病分類や国際生活機能分類を基に障害を特徴として捉えていく傾向が強まっております。

このような流れの中、中途失聴者や難聴者が抱える、あるいは今健聴であっても将来起こりうる「きこえの問題」も特徴と捉えて総合的に改善し、生活の質（QOL）を高めていくのは必然となります。

また、主催者はこれまで本セミナーを人工内耳相談会と位置づけ、宮城県内の人工内耳の周知に努めてきました。しかし、人工内耳や難聴医療の情報を必要とするのは、宮城県在住の方々だけではありません。

これらの情報を東北地方の一大拠点である仙台市から東北各地へ発信していくことも、主催者団体の重要な責務と考えております。

今回のセミナーでは、宮城県やその近隣県に在住する方々を対象とし、最新の人工内耳医療については東北労災病院耳鼻咽喉科部長の織田 潔先生、そして人工内耳装用後のリハビリテーションを含む人工内耳の基本的な事項については同病院言語聴覚士の米澤裕美先生をお招きし、お話しいただきます。

同時に、参加される方々が人工内耳について理解を深め、各々のQOL向上に少しでも役立つようにするために双方向性コミュニケーションの導入も検討しております。

さらに医療従事者の方々にも、このセミナーを契機にQOL向上のための支援を積極的に行えるようにすることも目的として開催いたします。